

伊豆市

梅まつり

入場無料。修善寺梅林のみ駐車有料。
修善寺梅林 古木から若木まで、20種3,000本の紅白梅が咲き誇る！
 とき / 2月1日(日)～3月1日(日)
 問合せ / 伊豆市観光協会修善寺支部
 電話 0558 72 2501
月ヶ瀬梅林 天城連峰を一望する山の斜面に咲く1,500本の梅。梅シロップなど梅の加工品や地場産品を販売。
 とき / 2月21日(土)～3月8日(日)
 問合せ / 月ヶ瀬梅組合
 電話 0558 85 0480

函南町

環境問題講演会

主婦の目線・素朴な疑問から始まった古紙回収活動や生ごみ減量、リサイクル推進、市民活動について聞いてみませんか。参加無料。
 とき / 2月14日(土) 13:30～
 ところ / 函南町中央公民館多目的ホール
 演題 / 『もったいない』から始まった

生き方(講師:高木恵子さん)
 問合せ / 函南町環境衛生課
 電話 055 979 8112

沼津市

観梅茶席

16種140本の梅の開花に合わせ、梅園内にくつろぎの茶席を開設。
 とき / 3月1日(日)までの土・日・祝日 10:00～15:30 * 荒天時中止
 ところ / 沼津御用邸記念公園梅園
 入園料 / 大人100円、小中学生50円 + 茶席料500円(抹茶、和菓子付き)
 問合せ / 沼津御用邸記念公園
 電話 055 931 0005

三島市

三島市民演劇祭

シアター万華鏡、宣至劇場、三島北高校演劇部、伊豆中央高校演劇部、劇団ピノキオ、三島かたりべの会、三島朗読研究会『詩音』による演劇の祭典です。
 とき / 2月15日(日)開演 11:30
 ところ / 三島市民文化会館小ホール

入場料 / 一般1,000円、学生500円 当日券あり、出入り自由
 問合せ / 三島市文化振興課
 電話 055 983 2672

清水町

泉のまちカレッジ

沼津市立病院脳神経外科部長による脳腫瘍の手術についての講座。参加無料。
 とき / 2月14日(土) 19:00～
 ところ / 清水町防災センター研修室
 問合せ / 清水町社会教育課
 電話 055 972 6678

裾野市

ネットすその

とき / 2月15日(日) 10:00～
 ところ / 裾野市民文化センター
みんなのつどい 公演の部 12:00まで、展示の部 15:30まで。
男女共同参画推進フォーラム 寸劇や事例発表、講演会 13:00～15:30
 問合せ / 裾野市生涯学習室
 電話 055 992 3800



伊藤 新司さん

全国障害者スポーツ大会
 投てき他金メダリスト(南條)

「黒い絵の具を水面に落とすと、円の外側は薄く透けて見えるが、中心は真っ黒。そんな感じです」。伊藤さんは、自身の視界をこう表現します。生まれつき視覚障害のある伊藤さんの目は、年齢とともに網膜が破壊され、徐々に見えなくなっていくそうです。
 体を動かすことが大好きで、若いころからグラウンドソフトボール(視覚障害野球)で全国障害者スポーツ大会に投手として出場、優勝の経験もありました。そして、数年前に陸上競技の投てきに転向し、同全国大会に出場。平成十七・十八年にハンドボール投げ、平成二十年に砲丸投げとジャベリックスローで次々と全国一位になりました(*いずれも四十歳以上、視力〇・〇三以下の部)。
 現在六十二歳ですが、選手としてはまだ成長過程という伊藤さん。毎日の筋力トレーニングと、週三回の近所の広場での投てき練習は欠かせません。「安全には十分注意して、ゲートボールの皆さんや子どもがいない時間帯に練習しています。私が投てきを続けられるのは近所の人の理解、家族・友人の応援のおかげです。大会では二十歳以上も若い選手と競わなくてはなりません、みんなのためにも、記録が伸びる限り上を目指します」。
 周囲の支えが追い風となり、伊藤さんの砲丸はますます遠くまで飛ぶことでしょう。

支えてくれる人たちに感謝

MY WAY

やむを得ない事情で減額認定証を提示できず入院した場合、一般の標準負担額と減額との差を食事療養費

入院したときの食事代は、一食あたりの標準負担額を自己負担します。低所得者・の人は、入院の際に「限度額適用・標準負担額減額認定証」が必要です。市役所の窓口で交付申請してください。
申請先 国保年金課(伊豆長岡庁舎)、葦山・大仁市民サービス課
持ち物 後期高齢者医療被保険者証、認め印

シリーズ 5
後期高齢者医療制度
食事療養費
 について
 問合せ 国保年金課
 電話 055 948 2905

入院時に医療機関へ認定証を提示すると... (一般病床に入院時)

区分	内容	提示前	提示後
世帯の世帯主及び世帯員全員が住民税非課税の人			
低所得者	入院したときの1食の食事代	長期入院*該当	260円
		長期入院非該当	210円
世帯の全員が住民税非課税で、世帯全員の所得が必要経費・控除(年金の所得だけの人は控除額を80万円として計算)を差し引いたときに0円となる人			
低所得者	入院したときの1食の食事代	260円	100円

*長期入院とは、過去1年間の入院日数が90日間を超えた場合をいう

として支給します。
申請先 国保年金課(伊豆長岡庁舎)、葦山・大仁市民サービス課
持ち物 後期高齢者医療被保険者証、後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証、認め印、本人名義の預金通帳(ゆうちょ銀行は不可)、入院時の領収書(原本)

第10分団 DATA

管轄区域
 三福、浮橋、田原野、下畑、長者原
 (1,205世帯 / 3,531人)
 分団長 川口 健次(浮橋)
 副分団長 佐野 幸男(三福)
 団員数 42人(うち支援団員7人)
 団員の平均年齢 24.7歳*
 団員の職業

自営業 9.5%
 会社員 90.5%

*正・副分団長 支援団員を除いた現役団員の年齢

GO! GO!
 ゴーゴーしょうぼうだん
消防団
 第10分団

伊豆の国市消防団第十分団は、旧・大仁方面隊第三分団、第六分団が統合して誕生しました。管轄区域は三福、浮橋、田原野、下畑、長者原で、住宅地のみならず山間地を多く抱え、全分団中でも最大級の広さを管轄しています。
 第十分団は本部行事以外にも、三福・熊野神社祭典や浮橋・賀茂神社祭典、浮橋そ

ばの里まつり、各地区の夏祭り、秋祭り、どんど焼きなどで積極的に参加・警備するなど、普段から地域との連携を深めています。
 (川口分団長より)「分団統合から十カ月が経ち、今まで以上に団員同士の親睦が深まりました。地域の皆さんにも、地域の安全と安心を守るために活躍する団員たちの姿を、ぜひ見て理解していただきたいと思います。また、第十分団では、新しい仲間を待っています。楽しい分団です。興味がある人は、一度見に来てください。今後とも、地域の皆さんのご協力・ご支援をよろしく願います」。

強い団結力で市内最大級の管轄地を守る第10分団